

「神の手」を持つ天野篤先生が メディカルラボに来校

「天皇陛下の心臓手術を成功させた心臓外科医・天野篤先生が
浪人時代の体験から受験の心構えまで、受験生へエールを贈る



誘惑をコントロール

可児 先生はいつ医者になろうと決めたのですか？
天野 医学部に入ってから自分は医師に向いていると思いましたが、正直、現役時代は本気にはなっていなかったですね。プロスキーヤーや建築家、パチプロにもなるのか、とか(笑)。
可児 意外に一途ではな

ったのですね(笑)。
天野 だから3浪です(笑)。
可児 浪人時代は予備校に通われていたんですよね？
天野 1年目は入ったんですけど、6月頃には雀荘通いがメインに(笑)。2年目は予備校に入らずパチンコ通い。さすがに3年経って医学部に行かないと格好つかなくなつたのと、父親の心臓病が悪化したこともあって、別の予備校に入りまして。ようやく本気で勉強し出した感じです。
可児 受験生が聞いたら勇気をもたえます。先生の頃も大変だったと思います
天野 今の医学部受験はまた違った大変さがありますよね？

て厳しくなっていますね。学科試験ができて面接で適性がないと判断されると落とされる。医療安全がより重視される傾向なので、患者さんと良好な関係を築けない人は難しいです。適性という意味では、医師は現場でリーダーシップを求められるので、高校時代にグループで取り組んだことで結果を出していたりするとプラスになります。
可児 医学部は小論文の試験も独特ですよ。
天野 文系と違って、医学部では60分で3本とか、素早い対応が求められます。内容だけではなく、誤字脱字がないか、字がきれいかな、行間が整っているかなど全体の体裁も見ます。医師は忙しいなかでも最低限のルールを守らないといけない仕事なので、体裁からも素養を判断しますね。
可児 それは訓練しないとできないんですよね。うちの授業はマンツーマンなので、書いて

面接試験が昔と比べて

た時点で医者のスタートではなく、国家試験を通った時がスタートです。医師免許を取る一番の近道は必ずしも偏差値の高い国立に行くことじゃない。目立たない私学でも現役で100%医師免許を取るところもある。そういう現場の最新事情を知っているのは、われわれ医師と専門予備校の先生方だけでしょう。
可児 そのとおりだと思います。なかなか受験生と親



授業は1対1、個別カリキュラムで指導 ©メディカルラボ

から勉強を始められるように体を作ること。訓練すれば出来ますからね。
可児 うちはすべて1対1なので誘惑には負けません。それに朝9時から夜10時まで勉強させています。
天野 それはいいですね。受験は勉強というより、訓練を乗り越えた人が合格できるということでしょう。
可児 訓練を乗り越えるためにはモチベーションや心のサポートも重要な役割だと思っっているのですが、先生ならどうアドバイスされますか？



可児良友先生
Yoshitomo Kani

メディカルラボ本部教務統括。1991年より大手予備校で受験生の指導にたずさわわり、数多くの医学部志望者を合格に導く。その経験をもとに医系学部受験の指導メソッドを構築。2006年に医系専門予備校メディカルラボの開校責任者に

でいえば、始めに数式を展開する問題で機械的な作業を正確にできるかを問われ、因数分解でパターンを適正に使えるかということ問われる。その次に文章問題で白黒つく問題。そして最後に応用。これって全部、手術にあてはめられるんですよ。試験は社会のある部分の縮図というか、社会に出てから経験するパターンの訓練を受けていること。

御さんだけでは集められない情報が多いですから、3月に東京と大阪で行われる講演会をぜひ聞きに来てほしいですね。
天野 受験時代の思い出から最新の現場のことまでたっぷりお話しします。
可児 受験生にとって天野先生はまさに雲の上の存在。先生のお話を聞けば、モチベーションアップにつながることは間違いありません。

可児 それなら志望校を見に行かせるのも効果的ですよ。ここで勉強するっていう気持ちがあわくだけで全然違う。あと、研修医を募集しているような病院に現場体験をさせてもらうのもいい。最前線の生臭い現場に身をおくだけでモチベーションがアップします。

天野篤先生
Atsushi Amano



順天堂医院・院長。1955年埼玉県生まれ。'83年日本大学医学部を卒業後、関東通信病院、亀田総合病院、新東京病院などをへて2002年に順天堂大学医学部教授就任。'12年には天皇陛下の冠動脈バイパス手術を執刀。昨年4月より現職

訓練の意味

天野 受験勉強は社会に出たら役立つという人がいますが、それは違う。最近気付いたんですが、試験問題の流れって実際の手術とそっくりなんです。数学

可児 それを受験生にわからせるのが予備校の役割。
天野 そうでしょうね。訓練の意味を伝えられれば、得られる結果も違う。すぐに結果は見えないかもしれないけど、筋肉みたいにいつの間にか身につけていて確実に力になりますよ。その訓練だけでも投資に見合った武器を身に付けていることになる。その武器はね、まず医師の国家試験のときに役に立つ。今、一流の国立大でも国家試験を通らない学生もいるんです。これは肝に銘じてもらいたいのですが、医学部に入っ

医学専門予備校 **メディカルラボ**

- ・特徴 1対1の完全個別授業
- ・合格実績 715名(2016年度) 医系専門予備校合格者No.1
- ・全国22校

札幌校 仙台校 さいたま校 千葉津田沼校 東京お茶の水校 東京新宿校
東京池袋校 東京立川校 横浜校 名古屋校 金沢校 京都校
大阪梅田校 大阪なんば校 神戸校 岡山校 広島校 松山校 福岡校
熊本校 鹿児島校 那覇校

特別招待講演 参加無料・先着順
天野篤先生と可児良友先生の講演会を東京と大阪で実施

※予約制です。ご参加は医学部をめざす受験生・高校生および保護者の方向に限らせていただきます。

東京	日時 3月5日(日) 開演 14:00 (受付・開場 13:30)
	ヒルトン東京3階 大和
大阪	日時 3月12日(日) 開演 14:00 (受付・開場 13:30)
	TKP ガーデンシティ PREMIUM 大阪駅前

メディカルラボ東京お茶の水校	0120-456-260
メディカルラボ東京新宿校	0120-456-320
メディカルラボ東京池袋校	0120-456-288
メディカルラボ大阪梅田校	0120-456-323
メディカルラボ大阪なんば校	0120-456-839

http://www.medical-labo.com/

講演会の詳細やお申し込みは、ホームページかお電話で